

承認番号	4255
研究課題名	2次性三尖弁閉鎖不全症例の形態学的特徴と術式検討
研究の意義・目的	Dreyfusの分類にしたがって、三尖弁形成術を行う。全症例において、術前に右心系の容量負荷(足上げテスト)及び低容量ドブタミン負荷心エコーを行い(LDSE)、これらの結果と術後成績との関連性を検討すること。つまりどのような症例が術後右心機能および形態回復(reverse remodeling)を来す可能性があるかを判定し、適切な術式を検討してする。
研究を行う期間	承認後～2025年3月31日（西暦）
研究対象者の範囲	大阪公立大学心臓血管外科及び共同研究施設において、2019年1月以降2025年3月31日までに房室弁疾患に対して僧帽弁手術を行われる患者
お願いする内容	全症例において、術前に右心系の容量負荷(足上げテスト)及び低容量ドブタミン負荷心エコーを行う。 下記項目を本研究に使用させていただく病歴、診断名、年齢、性別、入院日、既往歴、検査データ、術前, 術後の4DCT、心エコー図検査記録所見、術中所見等
いただいた使用の情報管理について責任者	所属：大阪公立大学医学部 心臓血管外科学講座 職名：教授 氏名：柴田 利彦